

TOSHI LANDSCAPE

LANDSCAPE CONSULTING

現場の気づきから始まるコンサルティング

From Field Insights to Landscape Solutions

Mission & Philosophy

私たちの使命

Philosophy

企業理念

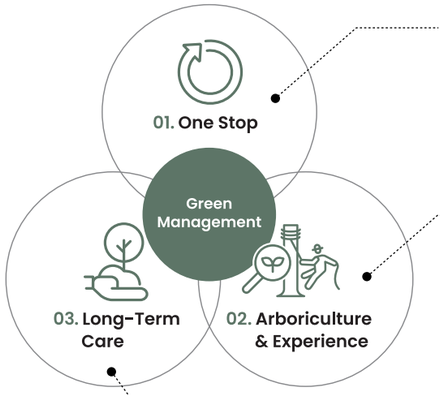
都市の景観に付加価値を
人と都市をグリーンでつなぐ

Toshi（都市の住環境）におけるLandscape（景観・風景）を、GREEN MANAGEMENT を通じてお客様と創造し、居心地の良い空間づくり、ライフスタイル・資産価値の向上をグリーンで提供します。

The core of “GREEN MANAGEMENT”

GREEN MANAGEMENTとは

プランニングから現場施工まで、長期的な視点で植栽を統合管理し、建物の景観と資産価値を継続的に高めるトシ・ランドスケープ独自の植栽管理手法です。



01. 自社で一貫した管理

相談から施工まで自社一貫。
スピーディーかつ適正価格で、品質を守ります。

02. 科学的な知見（アーボリカルチャー）と現場経験の融合

樹木医の知見とツリークライミングを融合し、科学的根拠のある管理で樹木を守ります。

03. 長期的な植栽管理の計画・プランニング

数年～数十年先を見据えた計画管理で、
景観と資産価値を持続・向上させます。

The Synergy

3つの専門性が交わる、当社ならではの強み。

3部門は独立して動くのではなく、常に並走し互いの専門性を補い合います。樹木診断、景観設計、現場実行。
すべての視点が一つの案件に重なることで、単独ではたどり着けない解を生み出します。



1 GREEN MAINTENANCE
実行力

高度な技術で植栽の健康と美観を現場から支える実行の核。

3 LANDSCAPE CONSULTING
構想力

長期の景観と資産価値を設計し、3部門の専門性を戦略へ統合する。

2 TREE RISK ASSESSMENT
診断力

樹木医の知見と診断機器で見えないリスクを可視化して、判断の根拠を作る。

LANDSCAPE CONSULTING

ランドスケープコンサルティング部門

現場ノウハウから生まれる、植栽コンサルティング

植栽管理の現場を知るプロが、維持管理コスト、管理計画・景観を多角的に分析し、最適なコンサルティングを行います。

Features

コンサルティングの4つの柱

01. 植栽の健康診断

樹木医が現状の植栽の状態を診断し、危険な樹木やこれから問題となりそうな樹木を洗い出します。

02. 中長期的な管理計画の策定

中長期的な視点に基づいた植栽の修繕計画を立案します。

03. コスト分析と適正化

現行の管理費用と作業内容を精査し、効果の高い箇所への予算再配分プランを提案します。

04. 景観と機能性の両立

居住者のニーズと機能性（日照・防犯など）を反映した、QOL向上につながる植栽デザインを提案します。

Field-Tested Proposals

現場経験に裏打ちされた「生きた提案」

現場の経験・技術と科学的な知見を合わせ、中長期的な視点から、住環境の植栽資産の価値を最大化するコンサルティングを行います。



Visualizing the Management Reality

管理実態の可視化

管理内容・費用構造・植栽状態を多角的に精査し、課題と改善余地を明確にします。



Medium- to Long-Term Plan

中長期計画の立案

現場の経験・技術と科学的な知見をもとに、将来の管理方針を策定します。



Validity Assessment

現行業者の妥当性評価

管理内容や費用が、市場価格や建物の状態に合っているかを精査します。



Enhancing Asset Value and Quality of Life

資産価値とQOLの向上

居住者の生活の癒しと潤いとなり、
売買時の印象にもつながる景観をつくります。





The Challenge & Reality

課題と現状

「かつての瑞々しい緑」が、
いつの間にか「暮らしの重荷」になっていませんか？

「例年通り」の管理を繰り返すだけでは、緑は暮らしの質を守れません。
場当たり的な手入れを超え、10年先を見据えた植栽管理への転換が必要です。

ソフトの悩み　管理体制と合意形成の停滞

仕組みの「老朽化」もまた、深刻な問題です。

管理コストの高止まり

毎年「例年通り」を繰り返すだけで、物価や人件費の高騰により管理の質は低下し、コストは積み上がっています。

住民間の意識の乖離

上の階は「緑が欲しい」、下の階は「日陰や虫に困る」。意見が分かれ、合意形成が平行線をたどっています。

長期ビジョンの欠如

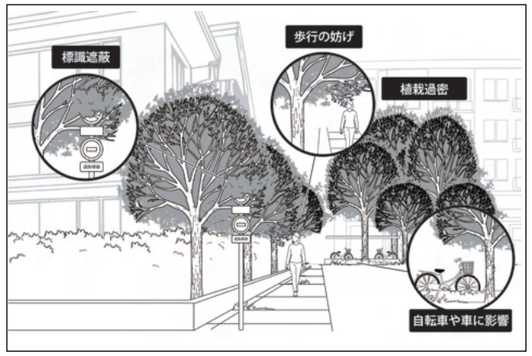
毎年「例年通り」の作業と報告が続き、長期的な見通しや、資産価値を保つための提案がないまま管理が続いています。

合意形成の難航と属人化

世代交代で価値観が多様化し、管理の属人化が進むことで、住民全体の合意形成が困難になっています。

ハードの悩み　物理的な限界と実害

竣工から数十年の歳月は、植物を「成長」から「過剰」へと変えてしまいました。



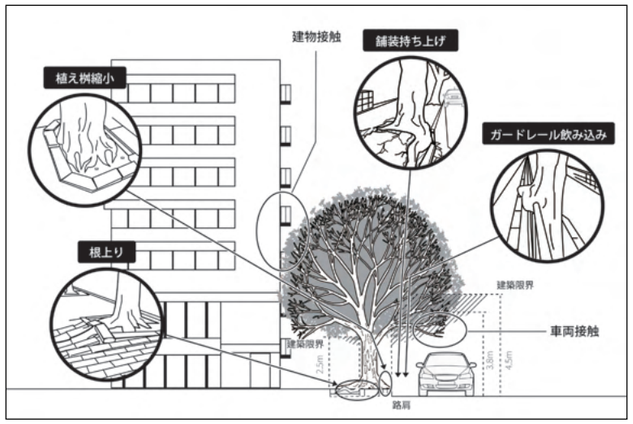
成長と空間のミスマッチ

育ちすぎた樹木が日照・風通しを奪い、居住者のQOLを静かに低下させています。



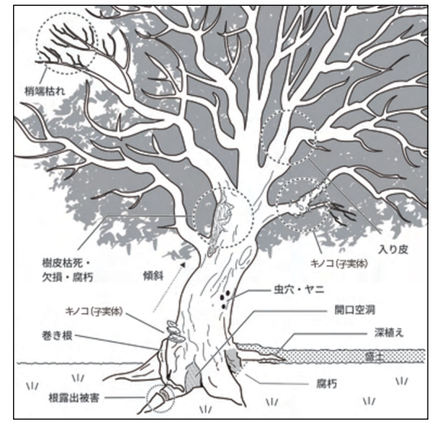
景観の劣化（裸地化・過密）

樹木が混み合いすぎて荒れた印象を与える一方で、足元の芝生は消え、地面が剥き出し（裸地化）に。「ただ生えているだけ」の状態が、建物の気品を損なっています。



植物と構造物のミスマッチ

根が舗装を持ち上げ、枝が外壁に当たるなど、植物の成長が建物や設備に影響しています。



健全性の損失と事故リスク

老朽化した茂みが害虫を招き、老木化した樹木が倒木や落枝のリスクを増大させています。

The Strategy & Solution

課題と解決の方法

「なんとなく」の予算削減が、一番のリスクです。
現場を知るプロが導く、資産価値を守るための「優先順位」。

私たちが大切にする「3つの要素」



1 Safety
安全性（最優先）

倒木・落枝など安全に関わるリスクを最優先で解消します。

2 Aesthetics
美観・彩り（価値向上）

成長を見越した植栽管理で景観の質を高め、居住者のQOLと植栽価値の向上を同時に図ります。

3 Efficiency
コストの適正化（合理化）

樹木の成長や環境変化に合わせて作業を見直し、回数・手法を最適化して将来コストを抑えます。

Strategic Solutions

戦略的な解決方法



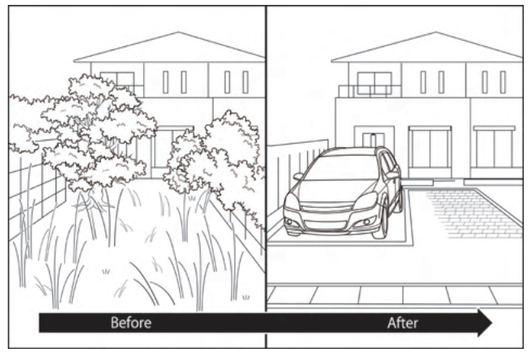
間引き（本数の調整）

大きく育ちすぎて混み合った樹木を樹勢・樹形から選別し、残した木を健康に育てながら将来の管理コストを削減する手法です。



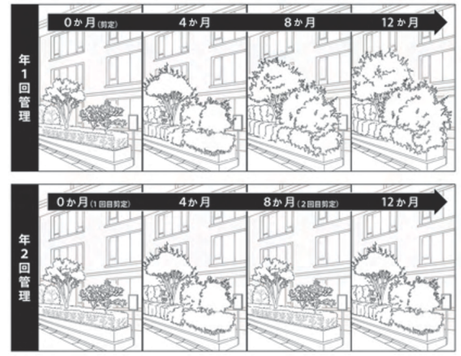
除草剤・発芽抑制剤散布

薬剤の効果で雑草の成長を抑制し、草刈りの回数を減らして景観を維持します。



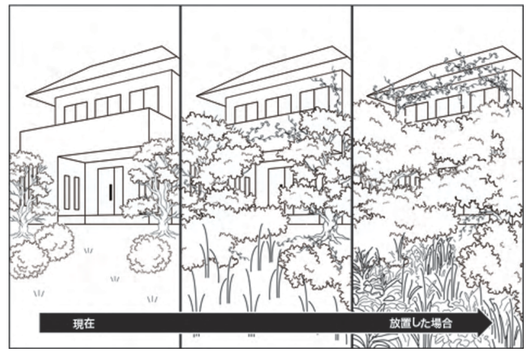
構造物への変更

植物が育ちにくい素材・構造へ改修することで根本的に問題を解消し、以後のメンテナンス負担を大きく減らします。



管理頻度を減らす

作業回数を見直して減らすことで直接的な管理費用を即座に抑えます。ただし植栽が繁茂する時期の景観や機能には注意が必要です。



放置

短期的に費用はかかりませんが、景観・安全性の低下が進み、長期的には資産価値を大きく損なうリスクがあります。

Volunteer
住民ボランティア

居住者が日常的な清掃や簡易管理を担うことで、管理費の一部を削減し、コミュニティの関与を高めます。





Long-Term Planting Management Approach

長期的な植栽管理の考え方

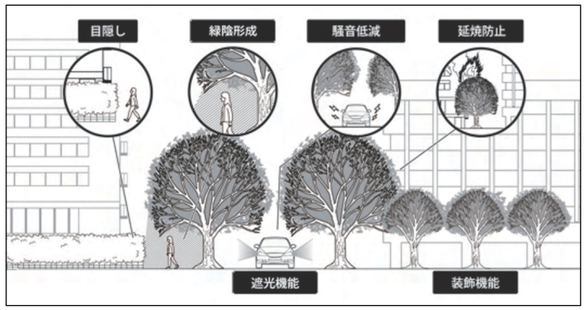
植栽は「生きている資産」です。現状を整えるだけでなく、
10年、20年先を見据えた植栽管理によって資産価値の最大化を目指します。

Management Concept

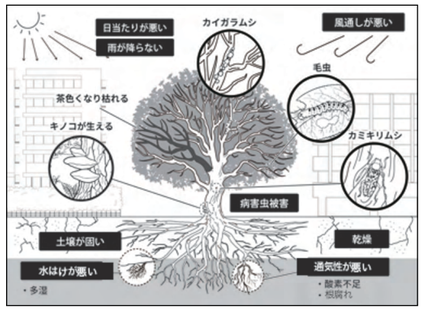
植栽管理の考え方

植栽が果たすべき「機能」と「環境」を最適化し、植栽資産の価値と居住者のQOLを高めることが目的です。

植栽の持つ機能



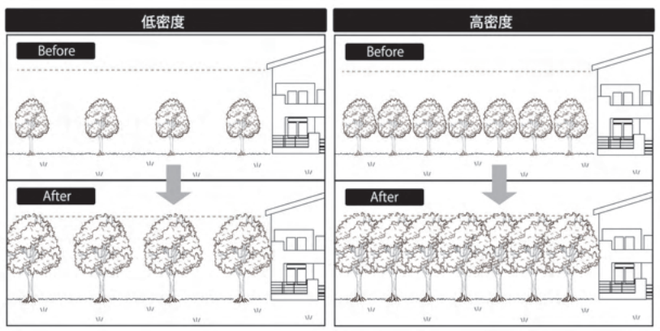
育てるための環境条件



Size & Density Concept

樹木の大きさと密度の考え方

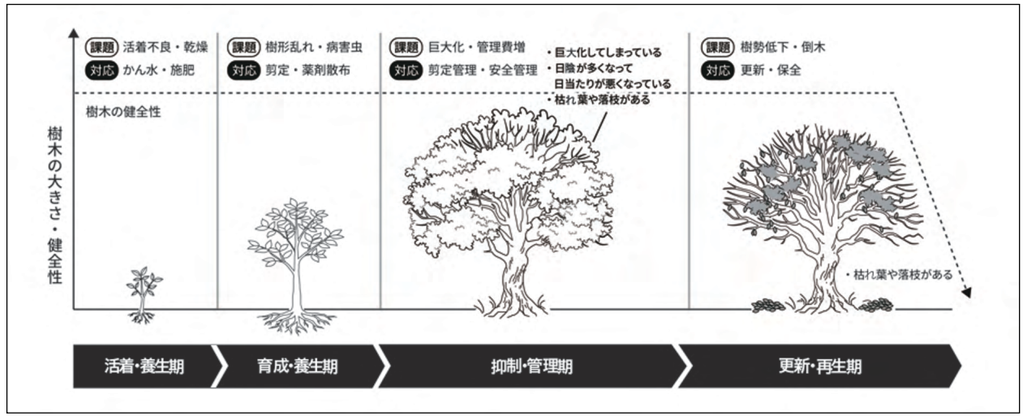
樹木は成長とともに密度が増し、景観を損ないます。
毎年の剪定だけでは対応しきれなくなる段階が訪れます。



Stage Management

生育ステージ別の段階的管理

樹木の姿は年月とともに変化します。管理手法も成長ステージに合わせて変えることが重要です。



生育ステージ		1. 活着・養生期間（竣工～3年）	2. 育成・養生期間（4～10年）	3. 抑制・管理期間（11～25年）	4. 更新・再生期間（26年～）
		「根」を定着させ、環境に適応させる時期	「目標樹形」を定め、骨格を作る時期	成長をコントロールし、美観と機能を維持する時期	資産の総点検を行い、次世代へつなぐ時期
樹木の状態		環境に対して非常にデリケートな状態。		による弊害（日照不足、害虫、通行の妨げなど）が生じやすくなる。	のリスクが目立つ状態。
管理の目的		確実な「活着（根付くこと）」を最優先する。	将来の完成形である「目標樹形」を定義し、そこに向けて枝ぶりを整える。	理想的なサイズを維持するための「抑制」と、機能の安定を図る。	継続して維持する樹木と、伐採・植え替えを行う樹木を判別し、景観を再構築。
主な作業		安定した水分供給（かん水）や、成長を助ける施肥、強風による倒伏を防ぐ支柱の点検・調整が中心。雑草は初年度から繁茂するため、除草も行う。	密度を適切に管理しながら、目隠しや景観演出といった「機能」が十分に発揮されるよう、将来の大きさをコントロールするための基礎を作る。	適切な剪定によって光と風を採り入れ、病害虫のリスクを低減。密集しすぎた箇所では「間引き（密度管理）」を検討し、全体の健全性を保つ。	樹木医による診断で安全性確認。建物の大規模修繕に合わせ土壌改良・樹種の植え替えを行い、次の25年へ備える。
定期管理	剪定	●	●	●	●
	除草	●	●	●	●
	施肥	●	●	●	●
	病害虫防除	●	●	●	●
	植栽巡回 定期点検	●	●	●	●
スポット	樹木補植			●	●
	芝生補植		●	●	●
	植え替え		●	●	●
	間引き			●	●
	枯れ枝・枯木除去			●	●
	倒木・障害木・実生木撤去			●	●
	支柱撤去 または交換		●	●	●

Case Studies

コンサルティング実績



01 大規模マンション（神奈川県横浜市都筑区）

規模:400〜500戸 / 敷地面積:約55,000㎡
期間:2019年3月〜現在
対応:月1回打ち合わせ(2時間)
内容:シンボル「ケヤキ並木」の更新
・景観マスタープラン策定
・継続的な提案と経過観察
・既存の造園会社への提案

02 大規模マンション（神奈川県横須賀市）

規模:700〜800戸 / 敷地面積:約55,000㎡
期間:2022年5月〜2023年8月
対応:打ち合わせ3回、調査3回、理事会プレゼン3回
内容:既存業者の費用・品質の再評価
・中長期改修・管理プラン策定
・2023年11月〜当社にて年間管理開始
・継続的な提案と経過観察

03 大規模マンション（東京都大田区）

規模:400〜500戸 / 敷地面積:約16,000㎡
期間:2019年7月〜2020年2月
対応:打ち合わせ5回、調査3回、最終プレゼン1回
内容:資産価値とQOLの向上
・年間維持管理費の合理化
・安全性の向上・既存業者の提案精査

04 大規模マンション（東京都杉並区）

規模:600〜700戸 / 敷地面積:約31,000㎡
期間:2024年4月〜2024年11月
対応:打ち合わせ4回、理事会プレゼン2回
内容:既存業者の費用・品質の再評価
・中長期改修・管理プラン策定
・2025年2月〜当社にて年間管理開始
・継続的な提案と経過観察

Company Profile

会社情報・実績

会社概要

社名	株式会社トシ・ランドスケープ
資本金	2,500万円
設立	2018年3月
代表者	代表取締役 中村雅俊
従業員	21名(2026年10月 現在)
所在地	**恵比寿 HEAD OFFICE** 〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿3-9-12 **久が原 OFFICE / YARD** 〒146-0084 東京都大田区南久が原2-31-28 恵ビル1F **杉並 OFFICE / MATERIAL BASE** 〒166-0012 東京都杉並区和田3-10-1-201
加入損害保険	AIG損害保険株式会社 賠償責任保険(企業用) 対人3億円 対物3億円 AIG損害保険株式会社 業務災害総合保険 ハイパー任意労災
保有資格	樹木医 / 街路樹・都市樹木診断士 1級造園施工管理技士 1級土木施工管理技士 / 1級造園技能士 植栽基盤診断士 / 屋上緑化コーディネーター 自然再生士 / 松保護士 東京都農薬管理指導士 二等無人航空機操縦士
取引先	Olympicグループ(OSCクリンネス) 住友林業緑化 / 積水ハウス / 大京アステージ 大和ライフネクスト / 東急コミュニティ 東邦レオ / 日本管財 / 日本ハウズイング 野村不動産パートナーズ 長谷工コミュニティ / ファーストリテイリング ベースフード / マッシュホールディングス 三井不動産レジデンシャルサービス 三菱地所コミュニティ / ミノラス不動産 リシュモンジャパン / 日建設計 ウッディーコイケ
許認可	特定建設業許可 東京都知事 許可(特-8)第156849号 産業廃棄物収集運搬業許可 許可番号 第13-00-215607号 古物商許可 登録番号 渋谷23-082223

管理・施工実績

マンション	ヴェレーナグラン赤羽北ザ・マークス / インペリアル浜田山 / 御苑レジデンス / 落合ハイム / グランドメゾン西麻布 グランドメゾン杉並シーズン / グランドメゾン多摩川 / グランフォルム六番町 / グレイスコート御殿山 グローリオ南阿佐ヶ谷 / コスモアクアージュ東京East / コスモ中目黒 / ザ・パークハウス追浜 / ザ・パークハウス大崎 ザ・ライオンズ上野の森 / サンビューハイツ白金台 / ジオ南青山 / ジェイパーク恵比寿 / 自由が丘アンクレー セルテシティオ世田谷烏山 / 多摩リバーサイドハウス / テラス笄町 / トーア久が原ガーデン / ドムス小石川 パーク・コート恵比寿ヒルトップレジデンス / パークタワー西新宿エムズポート / ピアーズ用賀レジデンス / プラウド元住吉 東急ドエルプレステージ池田山 / ベイクレストタワー / メイツ深川住吉 / リジェ奥沢エスト リジェ御殿山 / ブルーサンクポイント / ルフォン中野上鷺宮 / レーベンリゾシアヴェスティブルー レスティ恵比寿 / エステシティ湘南六浦 / 藤和マノワール上用賀
法人	東京アメリカンクラブ / (株)ファーストリテイリング(有明本部) / (株)イノベーションファクトリー(東雲工場) (株)OSCクリンネス / ベースフード(株) / 医療法人財団厚生会古川橋病院 / 社会医療法人財団正明会山田記念病院 三菱自動車工業(株)津田山オートスクエア / 日本テクサ(株) / 公益財団法人東京都公園協会 / リシュモンジャパン(株) (株)資生堂 / (株)ウッディーコイケ / エフティーエス(株) / 日本コムシス(株) / (株)自然教育研究センター サッポロ不動産開発(株) / 須藤石材(株) / 東急不動産住宅リース(株)
大使館	イスラエル大使館 / メキシコ大使館
教育施設	学校法人豊沢学園渋谷同胞幼稚園 / 社会福祉法人至誠学舎立川代々木至誠こども園 学校法人聖心学園聖心学園幼稚園 / 聖公会神学院
社寺仏閣	銀杏岡八幡神社 / 寿昌院 / 小村井香取神社 / 熊野神社 / 寛永寺 / 豊川稲荷・東京別院 / 聖輪寺

株式会社トシ・ランドスケープ

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿3-9-12
MAIL：info@toshilandscape.co.jp
TEL：03-3442-8491
FAX：03-6277-0377
https://toshilandscape.co.jp/
2026年10月現在

本冊子に掲載されている文章、画像、イラスト、レイアウト等の著作権は、すべて当社に帰属します。
営利・非営利を問わず、複製、転載、転用、改変、配布等の行為を固く禁じます。